

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【郡山市立白岩小学校】

1 実践テーマ	I ・ III ・ IV ・ V
2 実施対象者	白岩小学校 全校生 39名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体育科・生活科)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 (課外・係・当番活動)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>○ オリンピックやパラリンピックについて学び、その意義や精神、参加する選手や運営する人々の努力について理解する。</p> <p>○ フェアプレーやチャレンジの精神、自己実現といったスポーツの価値を知り、スポーツや健康管理に対する関心・意欲を高める。</p> <p>○ 他の国や障がいがある方々と交流をもつことで、多様性を尊重する視点を持ち、他者への共感や思いやりの心情を育てる。</p>
5 取組内容	<p>「わたしたちのオリンピック・パラリンピック in Tokyo」 ～やってみよう つながろう～</p> <p>実践1<生活科(1、2年)・課外(全学年)> 「チューリップを育てよう」 ～オランダ大使館より市へ寄贈された球根の栽培を通して～ 【調べる】 ・チューリップの種類や育て方</p> <p>【つながる】 ○オランダの植物栽培を通しての異文化理解 ・各学級(教室)でプランター栽培 ○聖火リレーの沿道を飾ることを視野に入れた、オリンピック・パラリンピック開催へのつながり ○「家庭・地域とつながる」 ・オリパラ教育の取組みを家庭と地域に発信</p>



郡山市はオランダの
ホストタウンです。

このチューリップは
オランダ大使館より
寄贈されました。



駐日オランダ王国大使館マスコット
レンジくん＆ファンちゃん

◎ 学校が起点となり、
ホストタウンとしての
気運の醸成を図る

実践2〈体育科・児童会活動（全学年）〉

「パラリンピックってなに？」

～ボッチャ・ゴールボールを体験しよう～

【調べる】

- 「パラリンピックスポーツ「ボッチャ・ゴールボール」について調べよう」
 - ・パラリンピックとは
 - ・ボッチャ・ゴールボールの簡単なルール
 - ・教材「I'm possible」

【見る・きく】

- 「お話をきく」
 - ・パラリンピックについて
 - ・ボッチャ・ゴールボールのルール・よさ

【体験する】 I'm possible

「ボッチャ・ゴールボールをやってみよう！」（全学年）

簡易ミニコートでの体験

- わかりやすい簡単なルール
- 練習の必要はない
- だれでもすぐに楽しめる



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異文化理解の活動として、オランダ大使館より市へ寄贈されたチューリップの球根を500個お預かりし、栽培活動を行った。聖火リレーの沿道を飾ることも視野に入れ、各学年の教室で世話をするとともに、その種類や特徴などについて調べ、理解することができた。 ○ ボッチャ・ゴールボールの体験を通して、体が不自由でも競い合うことができるというパラリンピック競技の素晴らしさに触れることができた。また、体に障がいを持つ方とも楽しめるスポーツの存在を知り、「共生」の意識も強まった。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>2021年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを児童にとって貴重な機会ととらえ、新たなスポーツとの出会いや、オリンピック・パラリンピックに関わる人々および他国の人々とのつながりを通して体験的に学べるように配慮した。</p> <p>また、学校が起点となり、地域のホストタウンとしての気運を高められるよう、家庭・地域への情報発信の機会を設定した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講師の確保については、学校単独では困難であり、今後も県・市の支援が必要である。 ○ 児童の関心・意欲が高まっていることから、オリンピック開催後も継続した取り組みとしたいが、予算の面で見通しが持てない状況にある。
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ホストタウン交流事業」の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・オランダ ブルメン市内小学校との交流 Skype等での交流 学校ホームページでの情報発信 ※ 郡山市国際政策課の協力を得ながら交流をさらに深める。 ○ 児童がオリンピックとの交流を通して、スポーツの魅力や努力することの素晴らしさ触れ、運動の日常化を図る活動 ○ 児童が主体となった地域への広報活動